

当教室におけるヒトゲノム研究について
(個人情報保護法改正に伴うお知らせ)

東京大学大学院医学系研究科
分子構造・動態・病態学寄附講座、細胞生物学講座
研究責任者 特任教授 廣川信隆

当教室では以下のヒトゲノム情報を用いた研究を行います。

【研究課題】

神経・代謝疾患におけるキネシン関連タンパク質の遺伝子変異・発現解析(G10017-(2))

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる施設は次に示す通りです

研究機関 東京大学大学院医学系研究科 分子構造・動態・病態学寄附講座、細胞生物学講座

研究責任者 廣川信隆 分子構造・動態・病態学寄附講座特任教授

担当業務 ヒトゲノムデータ解析、細胞生物学的解析

【共同研究機関】

- Dept Neurology, Penn State Univ Medical Center(アメリカ合衆国)
- Human Genetics Lab, Jawaharlal Nehru Centre for Advanced Scientific Research (インド)
- CEGMR, King Abdulaziz University (サウジアラビア)
- Arkansas Children Hospital, Univ. of Arkansas (アメリカ)
- Hebrew Univ. Medical Center (イスラエル)
- Dept Neurology, Penn State Univ Medical Center(アメリカ合衆国)
- Human Genetics Lab, Jawaharlal Nehru Centre for Advanced Scientific Research (インド)
- CEGMR, King Abdulaziz University (サウジアラビア)
- Arkansas Children Hospital, Univ. of Arkansas (アメリカ)
- Hebrew Univ. Medical Center (イスラエル)
- Department of Neurology - Carver College of Medicine, Univ Iowa (アメリカ)
- 福島県立医大病院 統合失調症死後脳 23例 1999～2013 (剖検期間)
- 双極性障害死後脳 5例 2001～2010
- 健常対照死後脳 3例 2011～2016
- 聖隷三方原病院 双極性障害死後脳 1例 2009
- 県立広島病院 統合失調症死後脳 1例 2015
- 聖マリアンナ医大病院 双極性障害死後脳 1例 2015
- 新潟大学脳研究所 健常対照死後脳 28例 1992～2010

- 理研・吉川武男研究室
- 国立精神・神経医療研究センター・星野・木村研究室
- (株)免疫生物研究所

担当業務 データ解析、サンプルの生化学的・分子生物学的解析

【研究期間】

2013年11月より5年間を予定

【対象となる方】

神経・代謝疾患のため各共同研究機関で加療中にゲノム解析に同意された患者さん

【研究の意義・目的】

キネシン関連タンパク質は細胞の中でものを運ぶ新しい酵素の一群ですが、近年、糖尿病・てんかん・神経変性疾患・高次脳機能障害・統合失調症・発達障害等の疾患群における重要性が注目されており、キネシン関連タンパク質のかかわる神経・代謝疾患の分子レベルの病態解明と新規治療法の創出を目的としています。

【研究の方法・個人情報の保護】

この研究は、東京大学医学部ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会および各共同研究機関の倫理委員会の承認を受け、東京大学大学院医学系研究科・医学部長の許可を受けて実施するものです。特に患者さんに新たに負担いただくことはありません。Carver College of Medicine, Univ Iowa、Hebrew Univ Medical Center、Arkansas Children Hospital、Pennsylvania State University Medical Center、Jawaharlal Nehru Centre for Advanced Scientific Research、King Abdulaziz University において採取されたヒト細胞のゲノムからキネシン関連タンパク質遺伝子の情報を集め、ヒト疾患との関連を解析します。また、福島県立医大・新潟大等で同意の上採取された患者さんの死後脳サンプルを福島県立医大・理研・国立精神神経センター・免疫生物研究所の協力を得て生化学的・分子生物学的に解析し、疾患との関連を解析します。患者さんのお名前はこれら各共同研究機関で新しい記号や符号におきかえられ、どなたのものか完全にわからないようにした上で、遺伝子情報や培養細胞等のサンプルが当研究室に到着することになります。当研究室では、廣川信隆管理責任者のもと厳重管理いたします。研究結果は、個人が特定できない形式で学会等で発表され、収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。もしご不明な点がありましたら下記までお問い合わせください。この研究に関する費用は主に日本学術振興会科学研究基盤研究費(S)ならびに国立研究開発法人日本医療研究開発機構・臨床と基礎研究の連携強化による神経・神経疾患の克服（融合脳）研究費により支出されております。

【問い合わせ先】

東京大学大学院医学系研究科
分子構造・動態・病態学寄附講座、細胞生物学講座
特任教授 廣川信隆 hirokawa@m.u-tokyo.ac.jp

